



Shizuoka春の芸術祭2010

Spring Arts Festival Shizuoka 6月5日[土]ー7月4日[日]

未完成な世界^{harmony}

会期 2010年6月5日(土)ー7月4日(日)
会場 静岡芸術劇場(静岡市駿河区グランシップ内)
舞台芸術公園(日本平)
野外劇場「有度」
屋内ホール「楢円堂」
稽古場棟「BOXシアター」

主催 SPACー(財)静岡県舞台芸術センター
助成 平成22年度文化庁芸術拠点形成事業
後援 国際交流基金 静岡県 静岡県教育委員会 静岡市

Shizuoka春の芸術祭2010

Spring Arts Festival Shizuoka 6月5日[土]ー7月4日[日]

未完成な^{harmony}世界～恋の終わらざるごとく世界も終わらざるなり～

(財)静岡県舞台芸術センター(Shizuoka Performing Arts Center: SPAC)は、静岡市内にある専用の劇場や稽古場を拠点に、専属の俳優、専門技術スタッフが活動を行なう日本で初めての公立の文化事業集団です。舞台芸術作品の創造と上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的として活動をしています。活動全体の方針、プログラムの決定権、人事、予算の執行権を持った芸術総監督制度をとり、初代芸術総監督鈴木忠志のあとを引き継いで、2007年4月1日より宮城聡が芸術総監督を務めています。

Shizuoka 春の芸術祭は、1999年に静岡で開催された第2回シアター・オリンピックスの成功を受け、SPACが2000年より毎年開催している国際演劇祭です。11年目を迎える今年は、2010年6月5日(土)から7月4日(日)までの1ヶ月間、静岡市にある静岡芸術劇場(グランシップ内)と舞台芸術公園(日本平)の劇場群を拠点に世界11カ国13演目24公演を開催してまいります。

「未完成な^{harmony}世界」のテーマのもと芸術総監督宮城聡が世界中から選びぬいた13演目が静岡に結集します。またさまざまな関連企画を設け、地域に暮らす人々とのつながりを持ったフェスティバルの開催を目指しています。

SPAC・静岡県舞台芸術センター

■ 宮城聡 (みやぎさとし)



演出家、静岡県舞台芸術センター (SPAC) 芸術総監督。

1959年、東京生まれ。90年、劇団「ク・ナウカ」を結成。日本の伝統演劇の様式とヨーロッパのテキストを融合させた演出には定評がある。2004年、第3回朝日舞台芸術賞受賞。2005年、第2回アサヒビール芸術賞受賞。海外公演も頻繁に行っており、06年10月にはパリのケ・ブランリー国立博物館クロード・レヴィストロース劇場のこけら落としとして『マハーバーラタ』を上演。代表作に『王女メデイア』(エウリピデス)など。07年4月より静岡県舞台芸術センター芸術総監督を務める。SPACでは07年11月に木下順二『巨匠』、08年5月に泉鏡花『夜叉ヶ池』、11月にシェイクスピア『ハムレット』、09年6月に唐十郎『ふたりの女』、10年3月にイブセン『ペール・ギュント』を上演。自作の上演と並行して、国際舞台芸術祭「Shizuoka 春の芸術祭」では世界各地から現代の世界を鋭く切り取った作品を次々と招聘し、また「シアタースクール」や「小さいおとなと大きなこどものための夏休みシアター」「中高生鑑賞事業」など静岡の青少年に向けた新たな事業を展開、「世界を見る窓」としての劇場づくりに力を注いでいる。

<テーマ>

未完成な世界～恋の終らざるごとく世界も終らざるなり～

Shizuoka 春の芸術祭では、毎回テーマを持ってラインナップを組んでいます。今年のテーマは「未完成な^{harmony}世界～恋の終らざるごとく世界も終らざるなり～」

1 年前、Shizuoka 春の芸術祭 2009 のテーマは「帰りなんいざ古典へ、世界まさに荒れなんとす」でした。リーマン・ショック直後、世界的不況の波は日本も襲い、100 年に 1 度の危機と言われた時、人類がこれまでも危機を乗り越えてきたその知恵と力を古典から得ようと、古典戯曲を中心にラインナップを組みました。

それから 1 年、世界は未だ閉塞感に満ち、ますます、人々は内向的になっているように感じます。それは、現代が完成されてしまった世界であり、人々が何をやってもこれ以上は変わらない世界で生きていると感じているからかもしれません。

しかし宮城聡は敢えて「未完成な世界」と題し、20 世紀以降に書かれた戯曲を素材にした舞台をプログラムしました。劇場は「世界をのぞく窓」です。現代の戯曲や、海外の舞台作品から、世界はまだ未完成的である、これから歴史を創っていくことができるというエネルギーを人々に与える演劇祭になることを願います。

静岡県舞台芸術センター

「世界」というものはすでにできあがっていて、いまはそれが経年劣化している。——もしかして私たちは世界をそんなふうにとらえてはいないでしょうか？特に若いみなさんは、「世界を作る」という仕事はすでに誰かが済ませてあって、自分たちは「その中でどう生きるか」だけを考える立場だと受けとめてはいないでしょうか？そして「世界」と「自分自身の問題（感情）」は無関係だと思いこんではいないでしょうか？

けれど少し前まで、人々は「世界はいま作られている最中だ」と感じて生きていたと思います。そうして、自分自身が悲しみや苦しみや喜びを経験することで少しずつ成長してゆくように、世界もまた、苦しみ悩みつつ成長してゆくものなのだ、と思っていたことでしょう。そのおかげで、感情というものも、世界とは無関係な自分だけの問題とならず、なにかしら世界とつながる営みだったと思うのです。

この春 SPAC は、「作られている最中の世界」をナマで見ることのできる作品を集めてみました。

シューベルトの伝記映画『未完成的交響曲』のラストシーンのように、「わが恋の終らざるごとく、この世界もまた終らざるなり」とつぶやいてもらえるように。

劇場は世界を見るための窓です

宮城聡

「世界」というものはすでにできあがっている、いまはそれが経年劣化している。—もしかして私たちが世界をそんなふうにとらえてはいないでしょうか？ 特に若いみなさんは、「世界を作る」ということはすでに誰かが済ませてあって、自分たちは「その中でどう生きるか」だけを考える立場だと受けとめてはいないでしょうか？ そして「世界」と「自分自身の問題(感情)」は無関係だと思っていないでしょうか？

けれども少し前まで、人々は「世界はいま作られている最中だ」と感じて生きていたと思います。そうして、自分自身が悲しみや喜びや喜びを経験することで少しずつ成長してゆくうちに、世界もまた、悲しみや喜びつつ成長してゆくものなのだと、思っていたことでしょう。そのおかげで、感情というものが、世界とは無関係な自分だけの問題とならず、何にかしら世界とつながる要素だったと思うのです。

この春 SPAC は、「作られている最中の世界」をすまで見ることのできる作品を集めました。

シュ・ヘルトの伝記映画『未完成交響楽』のラストシーンのように、「わが恋の終わらざるごとく、この世界もまた終わらざるなり」とつぶやいてもらうように。

劇場は世界を見るための窓です。

高城 聡

作品紹介

2010年3月に初演したSPACの新たな代表作！ 1ステージ限りの再演！！

①演劇／日本『ペール・ギュント』

演出：宮城聡

原作：ヘンリック・イブセン

翻訳：毛利三彌

音楽：棚川寛子

出演：武石守正、池田真紀子、石井萌水、大内智美、大内米治、奥野晃士、
加藤幸夫、木内琴子、貴島豪、榊原有美、佐藤ゆず、たきいみき、舘野百代、永井健二、
布施安寿香、本多麻紀、牧野隆二、吉見亮、若宮羊市、渡辺敬彦

6月5日（土）16時30分開演

静岡芸術劇場

上演時間：160分（途中休憩あり） 日本語上演・英語字幕

完売御礼！



（オーセ：榊原有美、ペールギュント：武石守正）

壮大な人生放浪の伝説譚

—果敢な挑戦をした宮城聡演出は、打楽器と絶妙な
装置を駆使して、独自の方法论で舞台を生かした—

初演時の劇評

「テアトロ」2010年5月号斎藤偕子氏評より



（左から貴島豪、永井健二、若宮羊市、武石守正、渡辺敬彦、牧野隆二、大内米治）

世界 10 カ国 19 都市で喝采の嵐！ 宮城聡の傑作、ここに復活！

②演劇／日本 『王女メデиа』

台本・演出：宮城聡

原作：エウリピデス

音楽：棚川寛子

出演：美加理、阿部一徳、赤松直美、池田真紀子、石井萌水、大高浩一、片岡佐知子、木内琴子、榊原有美、桜内結う、鈴木陽代、大道無門優也、高澤理恵、たきいみき、永井健二、仲谷智邦、本多麻紀、三島景太、吉植莊一郎、若宮羊市

6 月 19 日（土）、26（土）19 時 30 分開演

舞台芸術公園 野外劇場「有度」

上演時間：80 分 日本語上演・英語字幕



(王女メディア INFORMATION)

■宮城聡が追及した演劇スタイルの最高峰

コルクスの王女メディアは、恋人イアソンを慕って、家族、祖国を裏切りコリントスで夫と子どもたちと暮らす。しかしイアソンは自らの出世のため、メディアと別れ、コリントスの王の娘を妻とすることにする。コリントスの王からメディアと子どもたちは国外追放を宣告される。夫の裏切りに王女メディアは「子殺し」という方法で復讐を図る。

ギリシア悲劇のこの舞台を、宮城聡は明治時代の日本に重ね合わせた。文化的には大陸からの影響を受けながら、いち早く近代化を成し遂げ、アジア周辺地域への優越感という形でアイデンティティを確立する国。明治時代の歓楽街の座興として演じられる劇中劇として、「王女メディア」の物語は再現され、男性はセリフを語る<スピーカー>、女性は男性が語るセリフによって動かされる<ムーバー>を演じる。この「二人一役」の手法は、人形浄瑠璃の人間版として、宮城聡が長年に渡り追及してきた演劇方法であり、この戯曲に内包する<男性性>対<女性性>の構造にも重なっている。

■世界各国で喝采を浴びた名作

2010年4月には SPAC として初めての宮城聡作品の海外公演を実現

ボゴタ（コロンビア）で開催された「イベロアメリカ国際演劇祭」に招聘された作品の凱旋公演

『王女メディア』は宮城聡の代表作としてこれまで世界 10 カ国 19 都市で上演されてきました。この 4 月にもコロンビアで開催された「イベロアメリカ国際演劇祭」に招聘され、フェスティバルのクロージング演目として全 5 回を上演。900 席の劇場は全日チケット完売、公演ごとにスタンディング・オーベーションを受け、高い評価を得ました。

○ コロンビア「エル・ティエンポ」紙（2010 年 4 月 5 日）

「演出家・宮城聡の『王女メディア』は東洋と西洋とを見事につなぐ。だが、舞台の床には、一滴の血が大きく広がっている。

ストイックな表情の動かない身体が歪みを見せる。声のない顔。なぜなら彼女の声は、背後から来るのである。声を出すのは楽隊の前に座っている黒い服を着た俳優である。

つまり、この演出は、髪を引っ張り合ったり、目玉をひっくり返したりするわけでもなく、全く予想もつかなかったような演技のスタイルなのである・・・」



イベロアメリカ国際演劇祭とは

1988年にボゴタ創設 450 周年の祝祭記念として創設。2 年ごとに開催され、今年は 12 回目を迎える。多元性を持った南米アメリカ独特の文化を世界に融合させる重要な舞台芸術の祭典として開催され、世界三大演劇祭の一つとされている。今年の演劇祭では、国外から 85 団体、国内からは 100 団体以上が参加し、17 日間にわたって 1,000 近くの公演が行われた。

*演劇祭の公式プログラム上演数では世界最大の規模を持ち、コロンビアのもっとも重要な国家的行事のひとつであるこの「イベロアメリカ国際演劇祭」のディレクター、アナマルタ・デ・ピサーロ氏が、Shizuoka 春の芸術祭 2010 のオープニングに合わせて来静する。

来静スケジュール

6 月 4 日（金） 16:30 川勝平太知事、表敬訪問 静岡県庁

6 月 5 日（土） 16:30 SPAC『ペール・ギュント』観劇 静岡芸術劇場

想像を越えた夢のコラボレーションが実現！

③演劇／日本・フランス『若き俳優への手紙』

演出：宮城聡

作：オリヴィエ・ピイ

日本語台本：平田オリザ

翻訳：芳野まい

出演：ひらたよーこ、杉山夏美

製作：SPAC

6月12日（土）13時、13日（日）15時30分開演

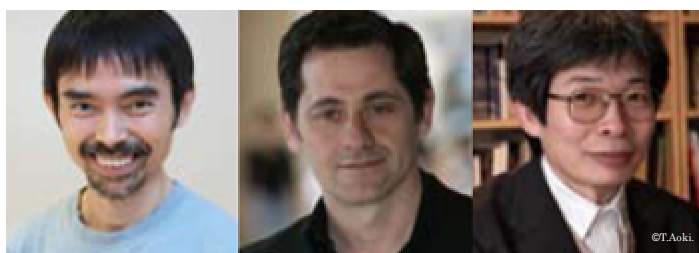
静岡芸術劇場

上演時間：90分（予定） 日本語上演・英語字幕

12日売切間近！



この『若き俳優への手紙』はフランス・パリ国立劇場、オデオン座によって 2008 年の Shizuoka 春の芸術祭で上演された作品です。この春、現代口語演劇の旗手であり、内閣官房参与でもある平田オリザ、そして夫人であり、その理論の体現者でもあるひらたよーこ、SPAC 芸術総監督宮城聡によって、新たな日本版として生まれ変わります。



宮城聡

オリヴィエ・ピイ

平田オリザ

<若き俳優への手紙>

フランス国立劇場オデオン座の芸術総監督オリヴィエ・ピイの戯曲作品。SPAC では、2008 年の Shizuoka 春の芸術祭で、彼の創作の原点ともいえるこの『若き俳優への手紙』と、オリヴィエ・ピイのオデオン座芸術総監督就任記念作品『イリュージョン・コミック』の 2 作品を、舞台芸術公園の野外劇場「有度」と静岡芸術劇場で連続上演した。

オリヴィエ・ピイ自身の分身とも言える<詩人>が、詩の復権、力について観客に訴える。言葉によって世界は変えられるのだ、と。一方、もう一人の出演者である人物は次々と役割を変え、<詩人>の言葉に反論していく。現代人の心に<詩人>の言葉は届かないのか。現代に生きる人々に向けた<詩人>からのメッセージ。

今回、この『若き俳優への手紙』を宮城聡演出のもと新たに上演するにあたり、日本語台本を「現代口語演劇の旗手」平田オリザ氏が書き下ろし、劇作家の分身である<詩人>の役を平田オリザ夫人である女優ひらたよーこが演じる。

原作では男優二人の舞台となっていたものが、女優二人バージョンとなり、＜詩人＞は「言葉のミューズ」と化す。

■ 平田オリザ

1962 年東京生まれ。現在、内閣官房参与、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、三省堂小学校国語教科書編集委員、（財）地域創造理事、（財）舞台芸術財団演劇人会議評議員、日本演劇学会理事、日本劇作家協会常務理事、東京芸術文化評議会評議員、BeSeTo 演劇祭日本委員会委員長。

演劇はもとより教育、言語、文芸などあらゆる分野の批評、随筆などを各誌に執筆。近年は、公演やワークショップを通じて、フランスをはじめ韓国、オーストラリア、アメリカ、カナダ、アイルランド、マレーシア、タイ、インドネシア、中国など海外との交流も深まっている。また、2002 年度から採用された国語教科書に掲載されている平田のワークショップ方法論により、年間で 30 万人以上の子供たちが、教室で演劇を創るようになっている。他にも障害者とのワークショップ、地元の駒場ほか、各自治体や NPO と連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、多角的な演劇教育活動を展開している。

■ ひらたよーこ



劇団「青年団」俳優、ことばをうたうバンドあなんじゅばす主宰。

1965 年東京生まれ。作曲家の父のもと作曲に親しんで育つ。国際基督教大学教養学部在学中に劇団「青年団」に入団。以後、『東京ノート』をはじめとする数多くの作品に出演、ヨーロッパ等の海外公演にも多数参加。同時にシンガーソングライターとしての活動を開始。96 年に演劇と音楽の結実点として「あなんじゅばす」を結成。作曲、歌、ピアノを担当。正岡子規の短歌から谷川俊太郎、藤井貞和等の現代詩まで 100 年の言葉を歌う活動は、音楽というジャンルを越え、演劇、短歌、現代詩など様々な分野で高い評価を得ている。

2004 年にローマ、06～10 年にパリで 5 回のコンサートを行う。09 年に日仏イラン合同公演『ユートピア？』に出演。09～10 年、日仏合同公演『鳥の飛ぶ高さ』でフランス国内巡演（パリ市立劇場他）に出演、挿入歌作曲も手がける。最近の活動では、矢野誠と共に谷川俊太郎の詩編「少年」に作曲、コンサートを行っている。

『若き俳優への手紙』 INFORMATION)

舞台装置は、SPAC 初となる公募から選ばれたプランが採用され、新たな効果を生んでいる。客席から舞台上に向かって架けられた橋がかり、その先の巨大な六面体に膨大な言葉がプロジェクターによって映し出される。日本の能舞台—橋がかりと舞台を逆からのぞいたような装置だ。六面体の内部には<詩人>を攻撃する存在であるもう一人の人物の姿がある。橋がかりから舞台に行くことができない俳優——これこそ『若き俳優への手紙』における<詩人>の立場かもしれない。

■ 舞台美術コンペティション

SPAC では今回の『若き俳優への手紙』を製作するにあたり、舞台美術プランを公募しました。応募資格 40 歳以下という年齢制限がありながらも、予想以上の反響を呼び、エントリーは 44 人（団体）、最終的に 31 案の力作が応募されました。一次審査では、出品者の名を秘して舞台美術のスケッチ・模型写真とプラン説明文をもとに審査が行われ、ファイナリスト 2 名を選出。最終審査ではプランの模型を用いての面接を行い、その結果、東京都在住の舞台美術家・青木祐輔氏のプランが採用となりました。

青木祐輔 プロフィール

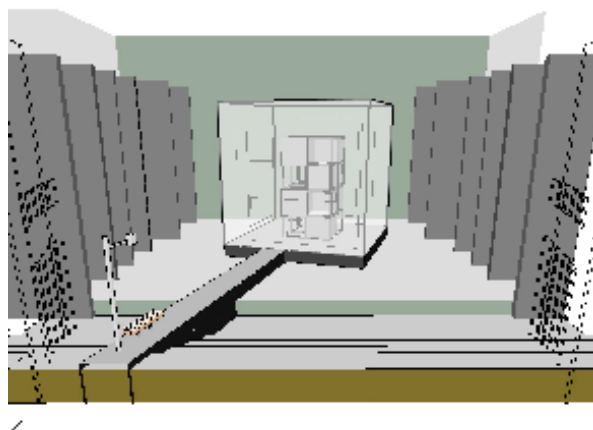
1970 年 東京生まれ。

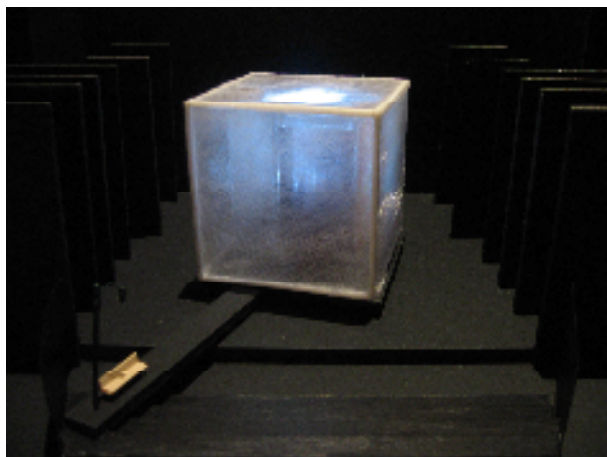
創形美術学校版画科卒業。2000 年よりグラフィックデザイナーとして活動を開始。

CD ジャケットなどのアートワーク、演劇チラシ・パンフレットデザインを手がける。

2004 年ジャンカルロ・ナンニ演出『かもめ』美術補助を契機に舞台美術の活動を開始。

以降、空間アート協会ひかり、ミズノオト・シアターカンパニー、重力/Note、AAPA、劇団レクラム舎、志太お茶の香演劇祭（藤枝市）他多数の団体作品に舞台美術として参加。





青木氏による舞台美術プラン（上：3D画像，下：模型）

■ 舞台美術コンペ参加作品公開展示

期間：5月12日（水）～6月13日（月）

会場：静岡芸術劇場1階ロビー

入場無料

『若き俳優への手紙』舞台美術コンペに応募された美術プランのうち24作品を静岡芸術劇場のロビーに展示いたします。ひとつの戯曲からさまざまに浮かび上がる舞台美術プラン、幻の舞台を想像しながらお楽しみください。

ヨーロッパで旋風を巻き起こす若き俊英！

④ダンス／台湾・ドイツ 『4.48』

振付：スン・シャンチー

装置デザイン：アニタ・フックス

出演：カンパニー・シャンチー・ムーヴ

6月5日（土）、6日（日）13時30分開演

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

上演時間：60分

静岡滞在予定：6/1～6/7（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



©Sven Hagolani

全席完売、当日半数が途中退席するという伝説の巨匠！

⑤演劇／フランス・ポルトガル『彼方へ ^{オード}海の讃歌』

演出：クロード・レジ

作：フェルナンド・ペソア

出演：ジャン＝カンタン・シャトラン

6月11日（金）、12日（土）、13日（日）18時30分開演

舞台芸術公園 屋内ホール「楯円堂」

上演時間：110分（途中入場不可、途中退場可） フランス語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：6/1～6/14（取材可能期間・通訳はSPACで用意）

12日完売！

フランスの中堅・若手演出家が「最も影響を受けた演出家」として必ず名前を挙げる御年87歳を迎えた巨匠クロード・レジ。しかしフランス語圏以外での公演は初、日本でも初公演という最後の巨匠が静岡にやってくる！

舞台芸術公園の「楯円堂」という他に類のない劇場空間で『彼方へ』を上演するにあたり、新たに作品創造を行うつもりで、滞在期間を延長、6月1日から6月14日まで、異例の2週間という長期に渡って舞台芸術公園に滞在する。



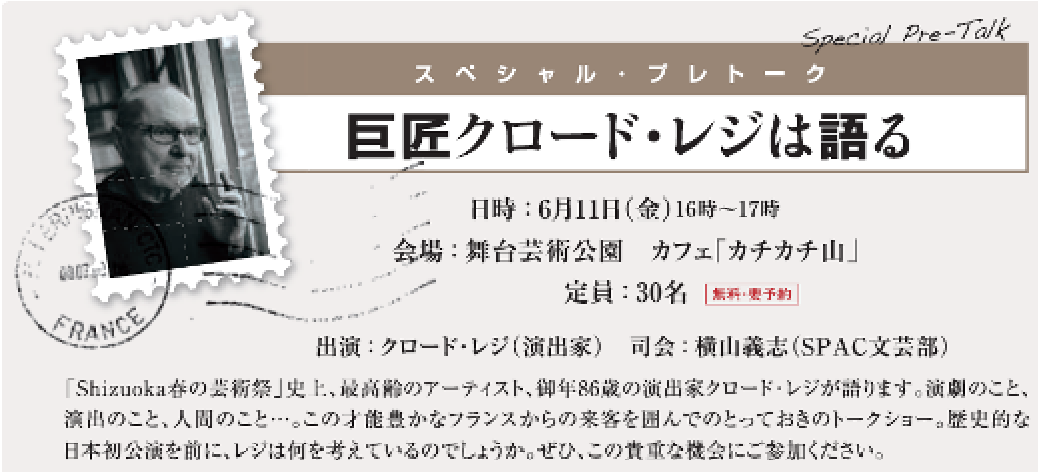
静謐な舞台美術空間の中にたった一人の男が立ち、朗々とペソア（ポルトガルの詩人・作家）の言葉を紡ぎだす——本国フランスでの上演の際も、観客の1/3は途中で客席を立ち、1/3は客席で眠るとも言われるレジの作品は、しかしそれでも必ずチケットは即完売と不思議な現象を起こすことでも有名だ。

この感覚の限界に挑むような挑戦的な作品が、静岡でもなんと12日（土）公演が前売り開始早々売り切れという現象を生んでいる。静岡の観客は怖いもの知らずなのか？！

6月1日～6月14日の滞在中、フランス演劇史の生き証人とも言えるレジ本人への取材をぜひご検討ください。

『彼方へ 海の讃歌（オード）』 INFORMATION)

■ クロード・レジ日本初公演記念 特別企画



Special Pre-Talk
スペシャル・プレトーク

巨匠クロード・レジは語る

日時：6月11日(金)16時～17時
会場：舞台芸術公園 カフェ「カチカチ山」
定員：30名 無料・要予約

出演：クロード・レジ(演出家) 司会：横山義志(SPAC文芸部)

「Shizuoka春の芸術祭」史上、最高齢のアーティスト、御年86歳の演出家クロード・レジが語ります。演劇のこと、演出のこと、人間のこと…。この才能豊かなフランスからの来客を囲んでのとおきのトークショー。歴史的な日本初公演を前に、レジは何を考えているのでしょうか。ぜひ、この貴重な機会にご参加ください。

クロード・レジ スペシャル・プレトーク

日時：6月11日(金)16:00～17:00

会場：舞台芸術公園 カフェ「カチカチ山」

定員：30名

出演：クロード・レジ(演出家) 司会：横山義志(SPAC文芸部)

『彼方へ 海の讃歌（オード）』観劇(同日18:30上演)と合わせてお楽しみ頂けます。

歌声にのせてつづられる人種を越えたヒューマンドラマ！

⑥演劇／イギリス

『セキュリティー・オブ・ロンドン 〜監視カメラの王国〜』

演出：アントニー・シュラブサル

作・出演：ゼナ・エドワーズ

6月12日（土）16時開演、13日（日）13時開演

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

上演時間：65分 英語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：6/9～6/14（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



レバノン出身の爆発的人気作家！

⑦演劇／カナダ・フランス『頼むから静かに死んでくれ』

作・演出：ワジディ・ムアウッド

出演：オ・カレ・ド・リポテニューズ、アベ・カレ・セ・カレ

6月19日（土）14時30分開演、20日（日）14時開演

静岡芸術劇場

上演時間：160分 フランス語上演・日本語字幕



天狗 がフランス人に憑依する驚愕のパフォーマンス！

⑧演劇／フランス 『アルルカン、天狗に出会う ～(H)arlequin/Tengu～』

作・出演：ディディエ・ガラス

執筆協力・翻訳・字幕製作：大浦康介

6月20日（日）11時、19時開演

舞台芸術公園 屋内ホール「楯円堂」

上演時間：60分 フランス語上演・日本語字幕



あの衝撃と熱狂が2年ぶりに静岡を襲う！

⑨演劇／ブラジル 『リオ・デ・ジャネイロ つかの間の愛』

コンセプト・演出：エンリケ・ディアス

共同演出：クリスティーナ・モウラ

出演：コレティヴォ・インプロヴィゾ

6月26日（土）14時30分開演、27日（日）16時開演

静岡芸術劇場

上演時間：75分 ポルトガル語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：6/23～6/28（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



■関連企画 「浜松在住ブラジル人による、文芸大演劇ワークショップ」あり（別紙参照）。

カフェが劇場に？ 規格外の上演でおくる、とことん狂った夜！

⑩演劇／インドネシア 『南十字☆路』

演出・振付：ユディ・タジュディン

装置デザイン：メッラ・ジャールスマ

音楽：リスキー・サマービー・アンド・
ザ・ハニーシーフ

照明デザイン：イグナティウス・スジアルト

出演：テアトル・ガラシ

6月25日(金)、27日(日) 19時30分開演

静岡芸術劇場内カフェ「シンデレラ」

上演時間：60分

インドネシア語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：6/24～6/28（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



寺山修司の傑作が人形劇に?!

⑪人形劇／日本 『毛皮のマリー』

演出・美術・人形操演：平常（たいらじょう）

原作：寺山修司

監修：森崎偏陸

演出補：輪嶋東太郎

7月3日（土）16時開演

静岡芸術劇場

上演時間：110分 日本語上演

R-15



古代日本を舞台に、韓国の巨匠がつくりあげる壮大なドラマ！

⑫演劇／韓国 『太陽の帝国』

台本・演出：イ・ユンテク

原作：チェ・イノ『第4の帝国』

出演：演劇団コリペ

7月3日(土) 19時30分開演

舞台芸術公園 野外劇場「有度」

上演時間：100分 韓国語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：7/1～7/5（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



■関連企画 7月4日（日）「演劇団コリペによるパレード」開催（別紙参照）。

●BeSeTo 演劇祭参加作品

項羽のすさまじい一生を限りなく美しく…

⑬演劇／中国 『霸王歌行 一項羽、歌の翼にのる』

演出：王晓鷹

作：潘軍

出演：中国国家話劇院

7月3日(土) 12時30分開演、4日(日) 13時30分開演

舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

上演時間：110分 中国語上演・日本語字幕

静岡滞在予定：7/1～7/5（取材可能期間・通訳はSPACで用意）



（『霸王歌行一項羽、歌の翼にのる』 INFORMATION）

■ BeSeTo 演劇祭

日本、中国、韓国の首脳が一同に会することがまだなかった1994年、3カ国の芸術家の決断により創設され、先駆的な事業として驚きと注目を集めました。その後も、さまざまな政治外交上の曲折のなかにあって、16年の長きにわたり継続し、演劇祭という枠組みを超え、いまや東アジアを代表する国際文化会議としての役割を担うに至っています。（BeSeTo 演劇祭 HP より）

※BeSeTo とは、北京(Beijing)、ソウル(Seoul)、東京(Tokyo)の頭文字をとったもので、1994年のソウル開催以来、韓国・日本・中国の順に3カ国で開催されています。そして日本開催年にあたる今年、Shizuoka 春の芸術祭では、BeSeTo 演劇祭との協力で中国国家話劇院を招聘しています。

会場案内

静岡芸術劇場



静岡芸術劇場は JR 東静岡駅前のグランシップ内に位置し、客席数約 360 席、舞台と客席が同じ大きさを有し客席と舞台の距離が大変近い舞台芸術専門の劇場です。明るい陽がさすホワイエからは間近に富士山が望まれ、開演前や終演後の休憩に観客と SPAC メンバーとの交流の場となっています。

舞台芸術公園



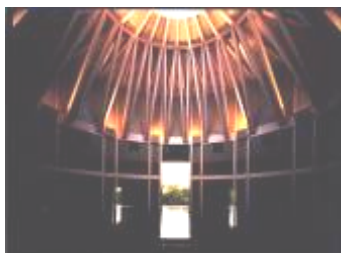
東静岡駅から車で 15 分ほどの日本平の中腹にある舞台芸術公園は、総面積 21 ヘクタールの広大な敷地の中に、野外劇場などの劇場群と舞台芸術の創造のための稽古場などを有しています。海外からの参加カンパニーは全て公園内の宿泊棟に滞在し交流の場となります。

(以下、舞台芸術公園内)



野外劇場「有度」

「自然との調和」のコンセプトを体現した野外劇場は、緑豊かな有度山の木々を借景にし、気候の変化で様々な表情を見せる幻想的な劇場空間です。後方には茶畑で構成された花道ならぬ茶道を配し、客席と舞台が一体となった特別な劇場体験を味わうことができます。



屋内ホール「楯円堂」

畳敷きのロビーから地下にもぐると宗教的な雰囲気兼ね備えた吹き抜けの劇場が広がります。世界最古の室内劇場テアトロ・オリンピコを模したユニークな劇場。俳優の息遣いまで体感できる濃密な空間です。



稽古場棟「BOX シアター」

SPAC の作品創造の現場である稽古場を改造した BOX シアターは、舞台と客席が地続きにつながった、ブラック・ボックスタイプの劇場です。シンプルな空間に無限の創造性が加わります。

後援：JAPANESE FOUNDATION 日本文化財団
財団法人 日本国際教育振興会 財団法人

Shizuoka 春の芸術祭 2010 関連企画 SPAC×スノドカフェ フェスティバル bar2010

**観客と出演アーティストがダイレクトに触れ合える<SPAC スタイル>を、
清水で話題のカフェで堪能しよう！！**

世界中のアーティストが静岡にやってくる！そんな Shizuoka 春の芸術祭の関連企画として、「フェスティバル bar2010」を 6 月 12 日から毎週土曜日、3 週に渡って OPEN します。

「フェスティバル bar」は、春の芸術祭のために来日したカンパニー（劇団、舞踊団など）メンバーと観客の皆様が、終演後に直接交流を持てる場となります。

SPAC 俳優や海外カンパニーのアーティスト達とお酒を片手に語り合う一作品について、それぞれの国の文化や生活について、観劇を足がかりに「異文化交流」を体験できる貴重なひと時です。



<参考>昨年開催されたフェスティバル bar : 「bar がらんどろ」での様子

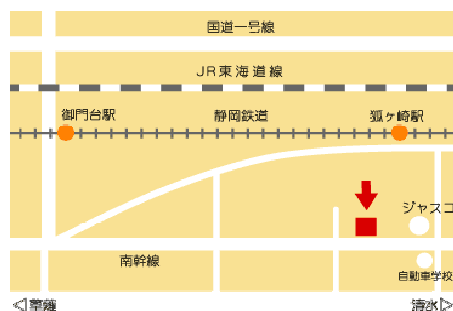
<フェスティバル bar2010>

日時：6月12日（土）、19日（土）、26日（土）21時30分より

開催場所：「スノドカフェ」

静岡市清水区上原1-7-3 リサイクルブティック スノードール2F

TEL.054-346-7669(予約不要)



【オルタナティブ・スペース スノドカフェ】

通常営業は毎月 20 日の 20:00 からのみという変わった形のコミュニティスペースで、静岡のアート関係者などが集う場所として存在感を高めている。随時ギャラリーやイベントも開催。Shizuoka 春の芸術祭の関連企画にも発展した「リーディング・カフェ」の原型、「古典戯曲を読む会」（SPAC 俳優奥野晃士主宰）も、月 1 回のペースで開催中。

Shizuoka 春の芸術祭 2010

オープニング/クロージングイベント 「伝馬町けやき通り路上パフォーマンス」 & 「韓国 演劇団コリペによるパレード」

劇場だけじゃ物足りない！

「Shizuoka 春の芸術祭 2010」は街をも巻き込んだフェスティバルです。

報道各位

芸術総監督宮城聡が選びぬいた、世界 11 カ国から 13 演目が静岡に結集する、「Shizuoka 春の芸術祭 2010」。そんな芸術祭のオープニングイベントとして、SPAC 俳優による「伝馬町けやき通り路上パフォーマンス」を、クロージングイベントとして韓国の「演劇団コリペによるパレード」を行います。

SPAC は昨年秋から、街へ飛び出してパフォーマンスを行っています。20 人の俳優による生演奏、豪華な衣装や時には仮面をつけての寸劇を織り交ぜながら、街ゆく人にフェスティバルの熱さと楽しさを伝えます。ふだんは劇場まで足を運ぶことがない方々にも SPAC の魅力に触れていただけるように、定期的に開催しています。

SPAC 『パール・ギュント』の出演者たちが、フェスティバル 2 日目に登場、オープニングを華々しく飾ります。そしてクロージングは、韓国の演劇団コリペが登場。野外劇場「有度」での公演の翌日、観客・市民と一緒に静岡市内を練り歩きます。コリペの劇団員は舞台衣装で登場し、日韓の市民交流を図ります。



<詳細>

春の芸術祭2010 オープニングイベント「伝馬町けやき通り路上パフォーマンス」

日時：6月6日（日）17時より

開催場所：静岡市葵区伝馬町けやき通り109前（雨天の場合は延期もしくは中止）

春の芸術祭2010 クロージングイベント「演劇団コリペによるパレード」

日時：7月3日（日）16～17時

開催場所：静岡市葵区伝馬町けやき通り109前～静岡県庁前（雨天の場合は中止）

市民側参加予定団体： “静岡に文化の風を” の会、大韓国民団静岡県地方本部

NPO法人AYUドリーム、楽韓ネット

お問合せ先：SPAC チケットセンター Tel 054-202-3399

Shizuoka 春の芸術祭 2010 関連企画 SPAC 芸術街道 リーディング・カフェ・ツアー

「ふじのくに芸術街道」盛り上げ企画
県下 22 の宿場町制覇を目指して好評開催中！
さあ、戯曲を声に出して読んでみよう！

報道各位

2010 年 6 月 5 日（土）から 7 月 4 日（日）までの 1 ヶ月間、静岡芸術劇場と舞台芸術公園を拠点に開催される「Shizuoka 春の芸術祭 2010」。芸術総監督宮城聡が選びぬいた、世界 11 カ国からの 13 演目が静岡に結集する、そんな芸術祭の関連企画として「SPAC 芸術街道リーディング・カフェ・ツアー」を 4 月から展開しております。

「リーディング・カフェ」とは、舞台上で上演される作品を、参加者一人ひとりが、プロの SPAC 俳優と一緒に読んでみるという企画です。声に出して、言葉をひとつひとつ辿って読み進める中で、普段おしゃべりをするときとは明らかに違う言葉や、登場人物たちのさまざまな心の動きを体験することができます。自分を見つめ、相手のセリフに耳を澄まし、思わず心をひらいて人と話ができる——。どなたでもご参加いただける気軽な演劇体験のひとつです。

コミュニケーションの“コツ”が学べるかも!と、ご好評をいただいているこの企画、この度「ふじのくに芸術街道」SPAC 版ということで、SPAC 所属の俳優が劇場を飛びだして、文化の線で静岡中を結びます。「Shizuoka 春の芸術祭 2010」野外劇場「有度」で上演される戯曲『王女メデシア』とともに、県下の東海道 22 の宿場町を巡回中です。



<次回企画詳細>

「SPAC芸術街道 リーディング・カフェ・ツアーin見附」

日時：5月14日（金）19時より

開催場所：「佐藤典子舞踊研究所 本部スタジオ」磐田市東中町1181

読む戯曲：「王女メデシア」エウリピデス作

参加費：1100円（ワンドリンク・資料代込み）※マイカップ持参の方は1000円

予約：SPACチケットセンター Tel 054-202-3399

※残り 5 月は 16 日の浜松→焼津→島田→興津と開催していきます。

（詳細は裏面をご覧ください）＊尚、秋の「リーディングカフェ」開催希望も随時受付中です。申込先：Tel 054-203-5730

SPAC芸術街道★ リーディング・カフェ・ツアー

俳優と共にしゃべりしながら戯曲の読み合わせをする…
そんな気盛な演劇体験から、コミュニケーションの“コツ”が学べるかも!と、
今や東京や名古屋でも大好評の「リーディング・カフェ」。

SPACでは平成22年4月から22ヶ月かけて、
ふじのくに芸術街道を演劇で盛り上げるべく
SPAC俳優が県下の宿場町22ヶ所+αに出張し
話題の「リーディング・カフェ」を開催します!

読む戯曲:
エウリピデス作
「王女メデイア」
参加費:1100円
(ドリンク・資料代込み)

マイカップ持参の方は1000円!

予約:SPACチケットセンター
TEL.054-202-3399
4月18日(日)10:00~受付開始

